



組織機構の再編について

再編案に込めた「あるべき姿」は？

質問

組織の再編は中長期的な戦略があつてこそものだ。市長が今回の再編案に込めた「横手市のあるべき姿」を伺う。

答弁

人口減少社会を迎える中で、市民の皆様がこの地域を愛する心を持ち続け、いきいきと暮らせるまちにしたいと考えている。組織再編はその姿の実現に向けた手段のひとつだ。

質問

組織機構の再編は次期総合計画につながるものだと認識している。策定の進捗状況を伺う。

答弁

基本構想の素案づくりに着手している。具体的には6つの分野でワークショップを実施し、検討している。2月から3月には中間の報告をしたい。

シテイプロモーション機能はなぜ商工観光部なのか？

質問

シテイプロモーション機能は商工観光部の分掌事務にあてはまらないと思うのだが？

答弁

「外に向けた発信」と「市民の皆さんが横手に愛着を持っていただくこと」の二本立てでシテイプロモーションを展開していきたいので理解してほしい。

質問

今回の案ではシテイプロモーション機能が商工観光部に移る。シテイプロモーションは総じていえば「まちづくり」であり、地域経営の基本だ。新設される総合政策部に置くのがしっくりくるのではないか。

答弁

商工観光部に置くのは、売込み的なものをつかりと掲げること大きな視点としているからだ。

地域における図書館の役割は？

質問

これからの地域における図書館の役割を考えた場合、図書館機能も生涯学習課と一緒に市長部局に移すべきではないか。

質問

小中学校との連携は評価している。しかし、子どもだけの図書館でいいのか？老若男女、市民全体の図書館であるべきだ。その取り組みが足りないと思う。

答弁

幅広い世代に対応していくのが公立図書館の勝負どころだ。それぞれのニーズに対応していくために足りない点は承知しているの

質問

小中学校との連携事業を強化しているのに、図書館は教育委員会に置くのが望ましいと考えている。

答弁

小中学校との連携は評価している。しかし、子どもだけの図書館でいいのか？老若男女、市民全体の図書館であるべきだ。その取り組みが足りないと思う。

▼ 活発な活動を展開している平鹿図書館

